

一人ひとりのWell-beingに向き合う
DX企業としての働き方へ

「Work Life Shift」の進化

2021年11月30日(火)

富士通株式会社

Employee Success本部

Employee Relation統括部

シニアマネージャー

大宮 泰治

富士通の「ありたい姿」

FUJITSU

パーパスの実現に向けて

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです。

Our purpose is to make the world more
sustainable by building trust in society
through innovation.

Work Life Shift

リアルとヴァーチャルの双方で常につながっている多様な人材が、イノベーションを創出し続ける状態をつくる

ニューノーマルな世界において、「働く」ということだけではなく、「仕事」と「生活」をトータルにシフトし、Well-Beingを実現する

- ・固定的な場所や時間にとらわれない
- ・社員の高い自律性と信頼をベース

Work Life Shift

2020年7月発表 FUJITSU

固定的なオフィスに出勤する従来の通勤の概念を変え、多様な人材が高い自律性と相互の信頼に基づき、場所や時間にとらわれず、お客様への提供価値の創造による社会の変革に継続的に取り組むことができる働き方を実現するため、人事制度とオフィス環境整備、組織カルチャー変革の面から、様々な施策を推進しています。



Smart Working

最適な働き方の実現

- ・ コアなしフレックスの適用拡大
- ・ 在宅勤務環境整備の補助金支給
- ・ 単身赴任解消の促進
- ・ 家族事情による遠隔勤務
- ・ 地方創生に向けた自治体との協定締結
- ・ ワークেশンの導入



Borderless Office

オフィスのあり方の見直し

- 業務の目的にあわせ、自由に選択できるワーク環境の整備
- ・ Hub Office
 - ・ Satellite Office
 - ・ Shared Office



Culture Change

社内カルチャーの変革

- ・ 1on1meetingの導入
- ・ コミュニケーションツールを全社共通サービスとしてグローバルで提供
- ・ スマートフォン全社員支給

After コロナを見据えながら、 Work Life Shiftはさらに進化

1. Hybrid Workの実践とエクスペリエンス・プレイスへの進化
2. DX企業としての働き方の進化
3. WorkとLifeのシナジー追求

上記を目指し、Afterコロナを見据えた「**Work Life Shift2.0**」を展開

生産性の向上、

リアルとヴァーチャル、WorkとLifeの相乗効果による新たな価値の創出、

Well-beingの向上のリファレンスモデルとなり、

社会やお客様の課題解決や持続的成長に貢献



Work Life Shift 2.0

1. Hybrid Workの実践とエクスペリエンス・プレイスへの進化

コラボレーションを生み出す新たなオフィス活用を通じ
リアルとヴァーチャルを組み合わせた真のHybrid Workの推進

オフィスの景色を変える取組み、サテライトオフィスの社外開放

- ・ 社内教育施設を大幅削減、オフィスの執務フロアにて新人教育含め研修やワークショップ・タウンホールミーティングを開催、**オフィスの新たな景色を創造**。（2021年11月実施予定）
- ・ 当社保有のサテライトオフィス「F3rd（エフサード）」の一部を社外に開放。**協創、ネットワーキングの場づくり**を行う。（2021年12月開始予定）

オフィスで最先端テクノロジーを体験

- ・ 2021年7月に入居した「JR川崎タワー」を**実証実験の場**として、生体認証の全面導入や社内ネットワークのSecure Internet Gatewayなどを導入
- ・ イベント連動型マッチングサービス「Buddyup!」と位置情報活用基盤「ロケーションプラットフォームEXBOARD for Office」を掛け合わせ、**オフィスコラボレーションを促進**。（2021年9月から実施）

2. DX企業としての働き方の進化

生産性向上に加えクリエイティビティを高める働き方へ
企業や地方自治体とのコラボレーションを通じた課題解決を目指す

スタートアップとのコラボレーションによる「Work Life Shift」課題解決へ

- ・ スタートアップとの協業を進める「富士通アクセラレータ」を活用。
リモートワークにおけるコミュニケーションなどの課題解決に向けた社内実践を開始。
(2021年7月から開始)

地方自治体との地域創生に関する連携

- ・ 地元企業や地域コミュニティと協働し、社内実践・プロボノ活動などを通じた
地域における課題抽出・解決支援の実践。
新たな知見獲得によりDX企業として不可欠なビジネスプロデューススキルを深化、
地域創生や地域経済の活性化に貢献していく。

3. WorkとLifeのシナジーの追求

柔軟な働き方を活かしてLifeの充実を
生み出される相乗効果により、従業員一人ひとりのWell-being実現へ

男性育児参加100%の推進

- ・ 配偶者の産前産後に最大2か月の有給休暇を付与（2021年7月から実施）
- ・ 育児をしながら働く社員を会社として全面的に応援「子育て応援宣言」（2021年下期実施予定）

ワーケーション／副業の推奨

- ・ 心身のリフレッシュ、メリハリある働き方・休み方の実践を通じて、新たな気づきや知見獲得の促進、創造力向上、新たな関係構築を期待

[ワーケーション]

業務出張前後に出張先での滞在延長を認め、交通費は会社負担に。（2021年7月から実施）
地方自治体と「富士通ワーケーションパートナーシップ」を締結、
各地でのワーケーションプランを共同企画。（2021年11月以降展開予定）

[副業の積極展開]

従業員のスキルアップ、経験値を高める場の選択肢として、積極的に副業を推奨。
今後も、ノウハウ・スキルを求める需要側とのマッチングなどを検討。

Thank you

